

# あいう屋(のたより)

## 1月

発行責任者  
原田 尚之

【校長室より】

## 学びの原型「いないいないばあ」

校長 原田 尚之

寒中お見舞い申し上げます。

平成30年がスタートしましたが、3年生にとっては春まだ遠き状況です。今はひたすら2次試験、私立大学試験、准看資格試験等を迎えるその瞬間まで、自分を信じ、先生方を信じ、必死に努力してほしいと思います。また、1, 2年生には、3学期は次の学年の0学期と位置づけ中長期的な目標を立て、計画的に努力してほしいと思います。さて今月は、ある教育雑誌の内容の一部を紹介する形で私の思いをお伝えしたいと思います。



人生の最初の学びは「いないいないばあ」ではないかと言われています。「いないいないばあ」は、鬼神が2年に一度現れ生贄を求めたという中国地方の伝承に由来するようですが、この遊びは広く世界に共通しているのは興味深い事です。例えば、英語では「ピー・カ・ブー」、フランス語では「カシュカシュ・クックー」ドイツ語では「ググス・ダダ」と言う具合です。

赤ちゃんは、自他の判別がつき始める生後6カ月前後から「いないいないばあ」に興じるようになります。さらに興味深いのは、「いないいないばあ」に学びの原点が埋め込まれていることです。「いないいないばあ」と初めて呼び掛けられた赤ちゃんは、突然の襲撃に驚愕し、あまりの恐怖で火がついたように泣き叫んでしまいます。突然訪れる異質の世界、その恐怖から学びはスタートします。しかし、「いないいないばあ」を何度か繰り返すと、赤ちゃんは泣かないで「うっ」と受け止め、その掛け声に全身で協応するようになります。さらに繰り返すと「いないいないばあ」を期待して待つようになり、やがて、満面の笑顔で喜び、その快楽を笑いで表現するようになります。学びは、このように恐怖から始まり、協応と期待を経て、快楽(喜び)へと移行するのです。

「いないいないばあ」は学びが見知らぬ世界への恐れからスタートし、その恐怖の受容によって開かれることを教えてくれます。異質な世界の「恐れ」の感情とそれを受容する寛容さが、豊かな学びの出発点となるのです。そして我々人間は生後6カ月前後で、その学び方を体験していることになります。

さて、最近よくAI(人工知能)という言葉を目にします。AIの発展により、我々の生活環境は爆発的に変化するだろうと言われています。今後、生徒たちは今までの常識では通用しない異質な世界を体験し、その異質な世界への「恐れ」を感じるようになるでしょう。そして、その「恐れ」を受容する寛容さにより、豊かな学びの出発点とするには、「五島高校での基礎的な学習、部活動、学校行事等の充実がより重要である」と改めて思いました。今年も、教職員一同、五島高校の生徒の指導に邁進いたします。今後ともよろしく願いいたします。

# 部活動報告

## 柔道部

主将 2年6組 山本肇二郎

私たち柔道部は、引地先生・原口先生のご指導のもと、「県大会上位入賞」、「全国・九州大会出場」を目標に日々練習に励んでいます。今年度は、男女団体・個人男子3名、女子4名が九州大会に出場しました。また、1月の全国選手権予選で男女団体が準優勝・個人男子81kg級優勝（山本肇二郎・3月全国大会出場決定）、2位（男子1名、女子2名）入賞など昨年以上の輝かしい成績を残しました。今後は、6月の高総体で男女アベックでの団体優勝を目指し、日々の練習に打ち込んでまいります。応援をよろしくをお願いします。

<試合結果>長崎県高校柔道選手権（1月13日～14日）

団体	男子	準優勝	女子	準優勝
個人	男子81kg級	山本肇二郎（1位）		
	男子73kg級	濱崎 大樹（2位）		
	男子73kg級	馬崎 碧忠（3位）		
	女子52kg級	馬崎 更紗（2位）		
	女子63kg級	岡村 美瑛（2位）		
	女子48kg級	清川 真伎（3位）		



## 剣道部

主将 2年4組 都々木悠人

私たち剣道部は、顧問の荒木先生、堤先生のもと日々の稽古に励んでいます。質の高い練習や多くの遠征を行ってきましたが、今年度はあまり思うような結果を残すことができませんでした。



しかし今やっている練習は、決して間違っているわけではないので来年度こそは、新部員を含めお互いにいい刺激をもらいながら上位大会に出場できるよう日々精進していきたいと思えます。

## 百人一首かるた部

🏆 大会13連覇達成



1月10日（水）本校セミナーハウスにて第39回下五島地区高等学校百人一首大会が開催され、五島高校、五島海陽高校、五島南高校、奈留高校から32名の生徒が参加しました。本校からは百人一首かるた部の生徒6名が出場しました。試合前、張り詰めた空気の中、選手達は1枚でも多く札を取ろうと集中して暗記をしていました。試合開始後は、どの学校の生徒も相手よりも先に札を取りたいという意気込みが感じられ、各コートでは熱戦が繰り広げられていました。試合を行った結果、五島高校が3勝で優勝し、大会13連覇を果たしました。応援ありがとうございました。来年度もよい成績が残せるよう練習に励みます。

## サッカー部

主将 2年5組 鍋内颯太

サッカー部は、顧問の七條先生、小川先生のご指導のもと、高総体ベスト8を目指し、毎日の練習に取り組んでいます。現在、部員が11名しかいないため、部員が一人でも休むと、練習内容を修正したり、試合の時は、チーム戦術やポジションを変更したりしています。大変な部分もたくさんありますが、一人一人が多くの経験を積むことが出来ているので、他のチームよりも成長できていると思えます。今後も、11人全員で練習に励みます。



## センター試験出陣式（1月12日）

3学年主任 吉田真也



センター試験前日の1月12日（金）に、センター試験出陣式が本校の軽スポーツ場で行われました。雪の影響のため、例年より短縮した形で実施されましたが、この日のために1・2年生が折り鶴やメッセージを準備してくれたことを、3年生はとても喜んでいました。

出陣式では、校長先生から貴重なアドバイスをいただくことができました。また、生徒代表で決意表明をしてくれた3年5組の木場結さんは、3年生の緊張を和らげながらも、センター試験に向けての士気を高める話をしてくれました。

センター試験当日は、欠席者もなく、全員受験することができました。これまで支えてくださった方々、本当にありがとうございました。これからも最後まで頑張ります。





## 国公立大学個別試験に向けて

進路主任 林田智宏

センター試験も終わり、1月15日より特別編成授業が始まりました。

2月25日（、26日）の国公立大学個別学力試験の前期日程、3月8日の中期日程、3月12日の後期日程、または私立大学の試験等に向けてそれぞれに頑張っているものと思います。試験場で立ち向かうのは一人ひとりの力ですが、そこにたどり着くのは五島高校に集う全員の力です。すでに進路先が決まっている人も、全く違う進路を歩もうとする人も、互いに高めあって、本番の試験では自信を持って臨めるようにしましょう。最後の最後までやりきる力…それこそが五高生の強みです。「3月1日に虹をかける」 頑張れ、五高生！

センター試験も終わり、1月15日より特別編成授業が始まりました。2月25日（、26日）の国公立大学個別学力試験の前期日程、3月8日の中期日程、3月12日の後期日程、または私立大学の試験等に向けてそれぞれに頑張っているものと思います。試験場で立ち向かうのは一人ひとりの力ですが、そこにたどり着くのは五島高校に集う全員の力です。すでに進路先が決まっている人も、全く違う進路を歩もうとする人も、互いに高めあって、本番の試験では自信を持って臨めるようにしましょう。最後の最後までやりきる力…それこそが五高生の強みです。「3月1日に虹をかける」 頑張れ、五高生！

## 交通講話

生徒指導部



去る1月16日（火）に、五島警察署 交通課課長の野口真吾様をお招きして、交通講話を行いました。講話では、15秒のCM仕立ての動画を通し、様々な日常の場面に潜む予想外の危険性について学びました。

歩行者の立場だけでなく、車の運転手目線の動画やお話もあり、生徒は講話に聞き入っている様子でした。生徒の中には、自転車通学生も多くいます。この講話で学んだことを活かし、被害者にも加害者にもならないよう、これからの学校生活を送ってほしいものです。

## 中地区学習交流会

進路指導部

1月7～8日に島原高校にて中地区学習交流会が行われました。この学習会は、県内中地区および離島地区の高校2年生を対象に行われ、「志」を同じくする生徒同士が切磋琢磨することで学習及び受験への意欲を高めようとするものです。本校からも難関大学・超難関大学を志望している生徒24名が参加しました。



### <参加した生徒の感想より>

この学習会を通して、普段の学校の授業よりもレベルの高いものを経験することが出来ました。事前の課題で解けなかった問題の解説を聞いた後、自分の力で類題が解けたことが驚きでした。どの授業の中でも、実際の二次試験を見据えてどう勉強したら良いのか具体的なアドバイスを聞くことが出来たので、今後の学習に取り入れていきたいです。この充実した指導を毎日受けている人達がいると思うと、もっと自発的に取り組まないと追いつけないと思いました。また、他校の人たちとの交流は貴重な機会でした。色々な人達がいて面白かったです。勉強方法や学校生活の話を知り、共通点があれば新しく知ることもあり、参考になりました。事前に質問を考えてくればもっと色々な話が出来たと思います。自分の高校の中だけでなく、もっと広い範囲で自分の実力がどのレベルなのかを体感出来た学習交流会でした。自分よりも能力の高い人達が本当に多くいて、今のまま目指す場所の異なる周囲の雰囲気には甘えていたらいけないと感じました。宿泊など大変でしたが、普段より難しい問題を深く考え、他校の人達と意見を交わしながらの授業は充実していました。また、同じ志望校の人と親しくなることで、これからの勉強のモチベーションも変わった気がします。とても貴重な二日間でした。

